論說

生産研究の意義

生產技術協會々長 稻 生 光 吉

明治維新以來素西文明に眼覺め、海外の文化の導入に努め、教育の改善に努めた結果、普通教育は相當普及したが、科學的教育の實施までに至らなかつた。一方專門學者の世界では、彼の水準に照して損色ない程度にまで進んだと考えられるのにかかわらず、多くの國民にはこれを認めるだけの素養がなく、舶來の理論や、舶來の品物でなければ奪しとしないという風が生じ、せつかくの研究の成果が空しく棚の上で、あくびをするという始末で貴重な研究成果はかえつて外國で實用化され、逆輸入を見るというふうにさえなつたことは返す返すも残念至極である。例えば MK 鋼の効用を知らないうちに、獨逸で實用化したり、八木アンテナが英國でレーダーに使用されて、わが國の敗北を連めたり、湯川粒子が米國で原子爆彈の製造に少くとも或る示唆を與えたりしている。スイスにしてもスェーデンにしても國土はわが國に比し狹少であり、資源の點でも大した違いがあるわけではないのに、彼の文化水準は世界の第一線を行き、到底わが國のそれと比較にならないほど開いてしまつた。それは米國と同樣、技術の開發或は實用化において優れているからに外ならない、この意味で生產技術研究所が設立されたことは誠に意義深く感じた.

職後生産技術なる言葉は各方面に稱えられているが、世上ややもすれば、これを工作技術的も工作法の研究のみの如くに解する向が多い。事實職後荒廢したわが國工業製品の粗悪或わ非能率による原價高は第一着手として改善を要するものであるが、他方製品が舊式のままの姿に止つているのを打開し、新規品種を創造して行くことも、前者と共に相並んで重大視されなければならない。即ち基礎研究の成果を實用化することが生産技術の一部門として、今後強く取上げるべき點である。生産技術の研究は或は生産工場で行うべきだとの意見もあるが、金融梗塞のため、工場は經營難に陷つているときでもあり、また現在の如く遅れたわが國工業の現狀を取戻すためには、あらゆる技術部門の綜合成果を結集することが必要である。今日工場にかくの如き研究を期待することは困難である。このような現状において、本研究所の如きはまさに時代の要求に最も適するものといえる。

また研究の成果を普及し効果あらしめるためには、有能な發表機關を有することが、研究その物と同程度の重要性を持つことはいうまでもない。願わくば發表の方法としては研究の經過が正しく記載され、その結果が明瞭で且つ讀む者をして興味と快感とを與えさせるものであつてほしい。會社工場等における、研究の發表がややもするとその眞髓に觸れることをいとう傾向のあつたことは誠に残念である。研究の成果はおしげなくとれを發表し、我も人もそれを基礎としてさらにその上の研究を行うのでなければ、現在の遅れを取戻すことは到底望まれない。ただし研究者の功績と利益とは特許權の獲得と任務發明の合理的な補償等適當な方法によつて保護しなければならない。

最後に本研究所の發達を育成するために、充分な資金の注入を得たいものである。この意味から先に學術會議の提唱 した工業技術開發金庫の如き機關の速かな出現を祈つて己まない。(25-1-7)

次

第·2·16		, /3
		fall was
腦波記錄器とその部品,今市地震	の視察、圓	錐レン
ズによる像		
生産研究の意義	稻 生う	と吉 5
綜合成果		
脳波の記録について	糸川 ϶	を夫 6
調查		
金屬工業界への超音波探傷器の應		
	高木	昇14 登14
연기가 연극하다 나는 사람이 되었다.	丹初	鼋
研 究		n 44. 00
振動容量式電位計		 雄20
合金狀態圖の新しい研究法	長崎部	成三 改弘…25
圓錐レンズによる像について	豊 田 不	引幸31
技術メモ		۰۵ مد
衝動と反動	宮津	承出33

그 중이 되었어요. 점점이다 그 어디 아들이 그래면 이 경기에 선생이다고요
新型永久磁石
新しい表面仕上法
技術史ノート
動力技術の發達生產技術史研究室34
隨 筆
寶 の 出 船南波松太郎30
速。報
13. 地上測量によるダム地點の測量 (丸安,大島)11;
14. スラッグの鹽基度 (松下) 12;
15. 熔鐵熔滓間の化學平衡(松下, 鹽見) 13:
16. 摩擦ポンプの特性に及ぼす粘性と亂れの影響
(宮津) 19:
17. 超音波厚み計 (高木, 丹羽) 23:
18. 鑛滓成分の活量の計算(松下,坂上)24.
19. 絕緣の不良劣化の新檢知方法 (福田, 馬場) 29;
20. 再び歯車ポンプ歯先間隙の最良値 (宮津) 32;
生研ニュース
(四 · (4) (4) (4) (5)